

## ◆ 今週のコメント

- ・ **デング熱**の報告が1例(40歳代男性)あります。症状は発熱・2日以上続く発熱・全身筋肉痛・発疹・血小板減少です。推定感染地域は国外(インド)で、推定感染経路は蚊媒介です。本年の累積報告数は4例となっています。
- ・ **レジオネラ症(肺炎型)**の報告が1例(80歳代男性)あります。症状は発熱・意識障害・肺炎です。推定感染地域は国内で、本年の累積報告数は9例となっています。
- ・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が1例(60歳代男性1例)あり、本年の累積報告数は19例となっています。
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が1例(80歳代男性)あり、本年の累積報告数は48例となっています。
- ・ **RSウイルス感染症**の定点当たり報告数は増加が続いており、2.72(117例)となりました。マスク着用や咳エチケット、手洗い等の基本的な予防策を徹底してください。

## ◆ 今週のトピックス:<結核>

- ・ 毎年9月24日～30日は結核予防週間です。京都市では、結核予防に関する普及活動に日々取り組んでいるところですが、今週のトピックスでは、平成28年の結核の状況についてまとめました。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ **二類:結核 5例(肺結核 2例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 1例)喀痰塗抹陽性 0例**  
【1月以降の累積報告数 233例(肺結核 120例, その他結核 38例, 潜在性結核感染者 75例)うち喀痰塗抹陽性 58例】
- ・ **四類:デング熱 1例【1月以降の累積報告数 4例】**
- ・ **四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 9例】**
- ・ **五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 19例】**
- ・ **五類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 6例】**
- ・ **五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 48例】**

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.40	146
	② RSウイルス感染症	2.72	117
	③ 手足口病	1.74	75
	④ ヘルパンギーナ	0.81	35
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.70	30
眼科	流行性角結膜炎	1.00	10

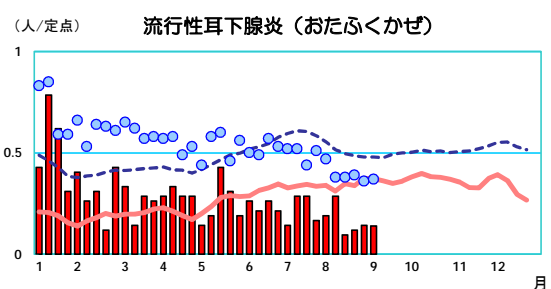
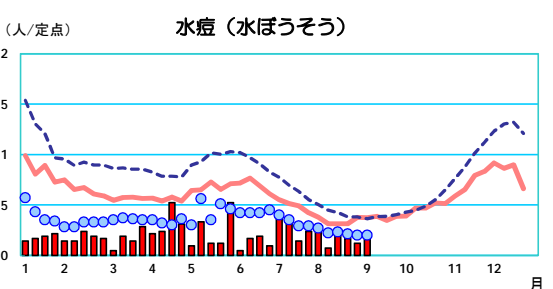
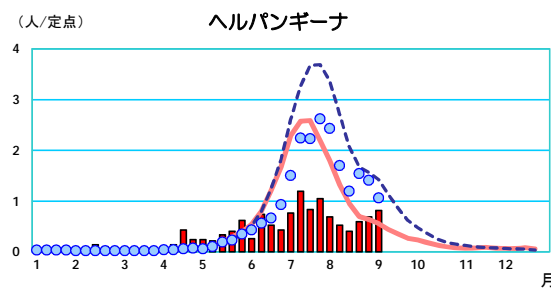
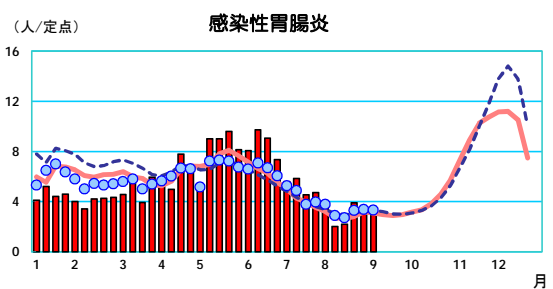
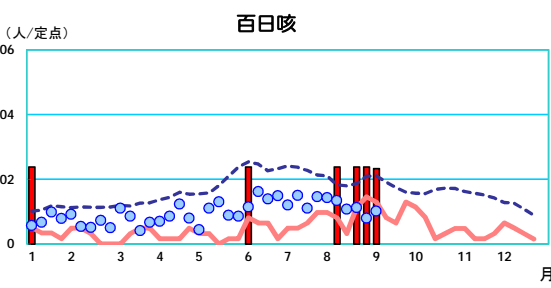
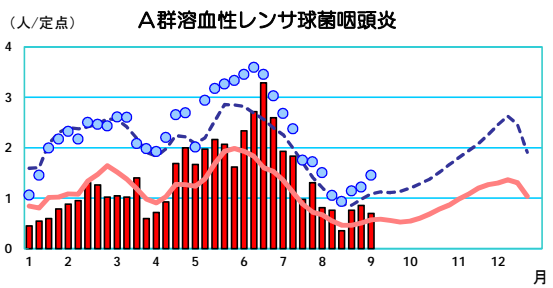
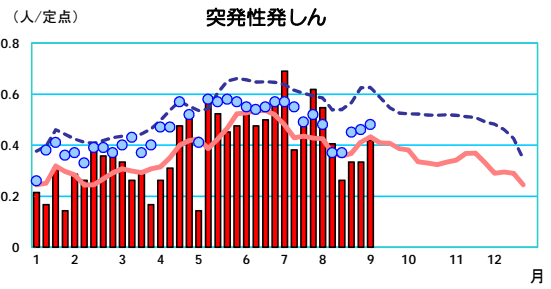
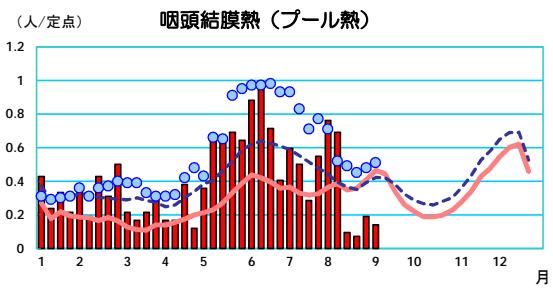
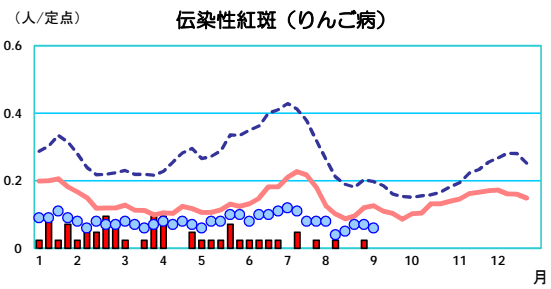
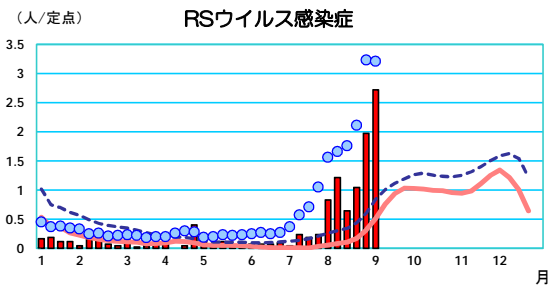
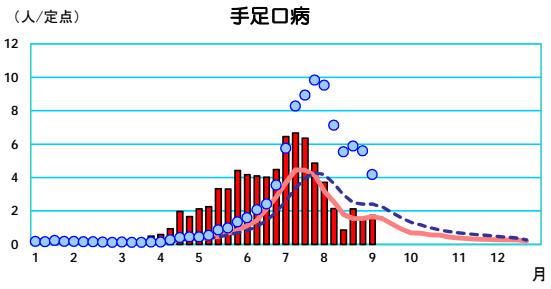
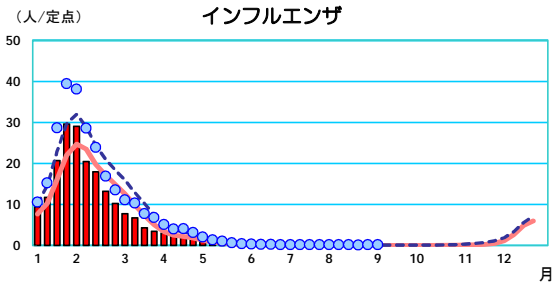
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<結核>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成29年9月13日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



## 第36週(9月4日～9月10日)トピックス: <結核>

毎年9月24日～30日は結核予防週間です。京都市では、結核予防に関する普及活動に日々取り組んでいるところですが、結核予防週間に先立ち、今週のトピックスでは平成28年の結核の状況についてまとめました。

本市の結核新登録患者は過去10年減少傾向にあります。平成28年は246人で、平成27年(239人)と比べ7人増加しました。罹患率(人口10万対)は16.7で、平成27年の16.2から0.5ポイント増加しました。依然として、全国の13.9と比較して高い値を示しています。また、平成28年の肺結核喀痰塗抹陽性罹患率は6.1と、平成27年から横ばいとなっていますが全国の5.2と比較して高い値となっています(表1)。

京都市では平成29年までに罹患率15.0以下、肺結核喀痰塗抹陽性罹患率6.5以下に減少させることを目標とし、達成に向けて取り組んでいます。喀痰塗抹陽性罹患率は平成27年に達成しましたが、罹患率はいまだに目標には達していません(図1)。

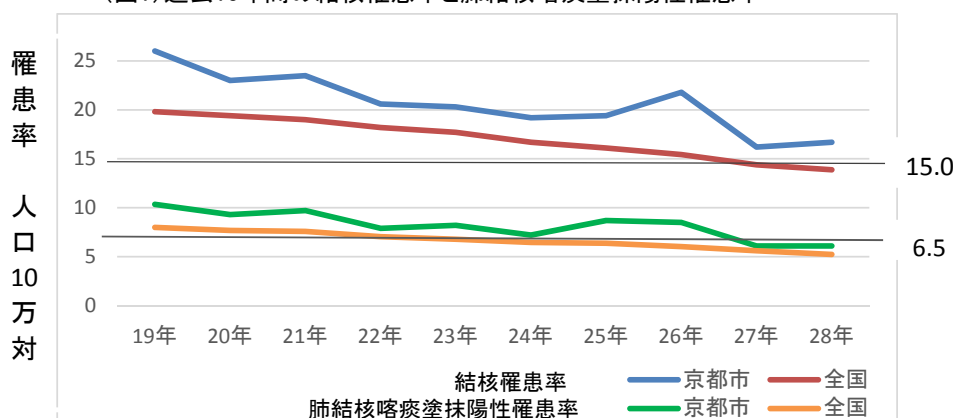
また、症状のある肺結核新登録患者が発病から初診までに2箇月以上を要する「受診の遅れ」が約5割にのぼり、発病から診断までに3箇月以上を要する「発見の遅れ」も3割を超えています(図2)。受診・発見の遅れは家族や身近な人への感染を拡大させ、症状が進行して重症になった場合には死に至ることもあります。2週間以上咳や痰(たん)、微熱が続くようなら早めに受診しましょう。

(表1)京都市及び全国の結核新登録患者数

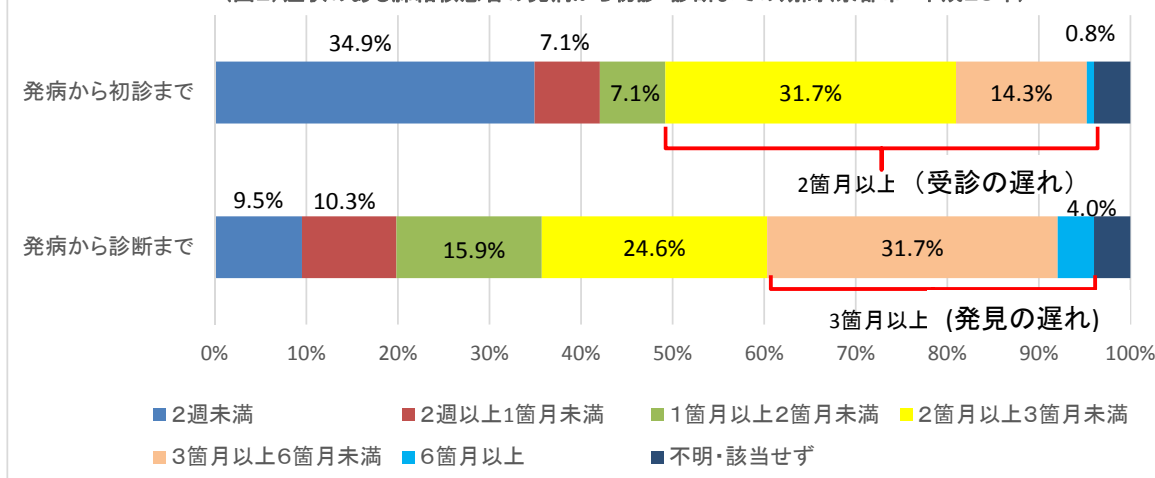
区分	平成27年	平成28年	全国(平成28年)*
新登録患者数(人)	239	246	17,625
罹患率(人口10万対)	16.2	16.7	13.9
肺結核喀痰塗抹陽性患者数(人)	90	90	6,642
新登録患者に占める割合(%)	37.7	36.6	37.7
罹患率(人口10万対)	6.1	6.1	5.2

\* 全国の数値は平成29年6月9日現在の厚生労働省年報集計結果による

(図1)過去10年間の結核罹患率と肺結核喀痰塗抹陽性罹患率



(図2)症状のある肺結核患者の発病から初診・診断までの期間(京都市 平成28年)



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第36週

疾病,行政区別報告数

平成29年9月4日～平成29年9月10日

データ入手日:平成29年9月13日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	3	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	4					
北	-	3	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	4					
上京	1	2	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-					
左京	-	10	-	7	34	-	10	-	2	-	1	1	-	1					
中京	-	5	1	2	4	1	3	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	5	-	-	6	-	-	-	1	-	-	-	-	-					
山科	-	25	1	2	5	1	2	-	2	-	4	-	-	1					
下京	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-					
南	-	10	-	-	9	-	4	-	2	1	8	1	-	-					
右京	-	24	3	13	18	-	24	-	2	-	5	2	-	4					
伏見	-	22	1	4	50	7	27	-	4	-	14	2	-	-					
西京	-	11	-	2	16	-	3	-	1	-	-	-	-	-					
京都市計	1	117	6	30	146	9	75	-	18	1	35	6	-	10	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	0.75	-	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-	4.00					
北	-	0.75	-	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-	4.00					
上京	0.20	0.67	-	-	-	-	0.33	-	0.33	-	0.33	-	-	-					
左京	-	2.50	-	1.75	8.50	-	2.50	-	0.50	-	0.25	0.25	-	1.00					
中京	-	1.67	0.33	0.67	1.33	0.33	1.00	-	0.67	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	2.50	-	-	3.00	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-					
山科	-	5.00	0.20	0.40	1.00	0.20	0.40	-	0.40	-	0.80	-	-	1.00					
下京	-	-	-	-	1.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-					
南	-	3.33	-	-	3.00	-	1.33	-	0.67	0.33	2.67	0.33	-	-					
右京	-	4.80	0.60	2.60	3.60	-	4.80	-	0.40	-	1.00	0.40	-	4.00					
伏見	-	3.14	0.14	0.57	7.14	1.00	3.86	-	0.57	-	2.00	0.29	-	-					
西京	-	2.20	-	0.40	3.20	-	0.60	-	0.20	-	-	-	-	-					
京都市計	0.01	2.72	0.14	0.70	3.40	0.21	1.74	-	0.42	0.02	0.81	0.14	-	1.00	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第36週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年9月4日～平成29年9月10日

データ入手日:平成29年9月13日

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳- 50歳- 70歳以上	60歳- 60歳- 60歳- 70歳以上	70歳- 70歳- 70歳以上 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	117	14	21	48	25	6	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		6	-	1	2	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		30	-	-	2	-	2	4	8	5	3	2	2	1	-	1	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		146	4	11	27	18	13	5	6	7	5	9	4	18	4	15	-	-	-	-	-	
水痘		9	-	-	3	1	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		75	1	6	19	13	18	8	3	2	1	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		18	-	6	10	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		35	1	2	12	6	4	4	2	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		6	-	-	-	-	2	-	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎			10	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	2	2	-	3	1
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳- 50歳- 70歳以上	60歳- 60歳- 60歳- 70歳以上	70歳- 70歳- 70歳以上 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	2.72	0.33	0.49	1.12	0.58	0.14	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
咽頭結膜熱		0.14	-	0.02	0.05	-	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.70	-	-	0.05	-	0.05	0.09	0.19	0.12	0.07	0.05	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-		
感染性胃腸炎		3.40	0.09	0.26	0.63	0.42	0.30	0.12	0.14	0.16	0.12	0.21	0.09	0.42	0.09	0.35	-	-	-	-		
水痘		0.21	-	-	0.07	0.02	0.07	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
手足口病		1.74	0.02	0.14	0.44	0.30	0.42	0.19	0.07	0.05	0.02	-	-	0.07	-	0.02	-	-	-	-		
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
突発性発しん		0.42	-	0.14	0.23	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
百日咳		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヘルパンギーナ		0.81	0.02	0.05	0.28	0.14	0.09	0.09	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	0.05	-	-	-		
流行性耳下腺炎		0.14	-	-	-	-	0.05	-	-	-	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-		
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流行性角結膜炎			1.00	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	0.10	0.20	0.20	-	0.30	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第36週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年9月13日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	12	-	5	8	8	1
RSウイルス感染症	35	51	27	44	83	117
咽頭結膜熱	32	29	4	3	8	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34	32	15	32	37	30
感染性胃腸炎	170	85	92	164	133	146
水痘	11	3	9	7	5	9
手足口病	156	90	36	89	64	75
伝染性紅斑	-	1	-	-	1	-
突発性発しん	23	17	11	14	18	18
百日咳	-	1	-	1	1	1
ヘルパンギーナ	29	22	17	25	30	35
流行性耳下腺炎	8	12	4	5	6	6
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	5	2	8	9	10
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	515	348	222	400	403	454

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.17	-	0.07	0.12	0.12	0.01
RSウイルス感染症	0.83	1.21	0.64	1.05	1.98	2.72
咽頭結膜熱	0.76	0.69	0.10	0.07	0.19	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	0.76	0.36	0.76	0.88	0.70
感染性胃腸炎	4.05	2.02	2.19	3.90	3.17	3.40
水痘	0.26	0.07	0.21	0.17	0.12	0.21
手足口病	3.71	2.14	0.86	2.12	1.52	1.74
伝染性紅斑	-	0.02	-	-	0.02	-
突発性発しん	0.55	0.40	0.26	0.33	0.43	0.42
百日咳	-	0.02	-	0.02	0.02	0.02
ヘルパンギーナ	0.69	0.52	0.40	0.60	0.71	0.81
流行性耳下腺炎	0.19	0.29	0.10	0.12	0.14	0.14
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	0.50	0.20	0.80	0.90	1.00
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	12.53	8.67	5.39	10.06	10.21	11.32

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。